６月号　　令和８年５月25日　発行

四中だより

朝霞市立朝霞第四中学校
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60
℡(048)466-4711
Fax(048)467-4744

目指す学校像
生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

One for all , All for one　～同じ目標に向かうということ～

校長　太田（おおた）　禎治（さだはる）

５月１６日、さわやかな５月風に吹かれながら、第５０回体育祭を開催することができました。予行演習の際には、５月中旬にも関わらず熱中症が心配されましたが、当日は大きな負傷者もでずに実施できました。誠にありがとうございました。当日は３年ぶりの土曜日開催ということもあり、多くの保護者に来校いただき、さらに松下市長、二見教育長をはじめ地元市議会議員の皆さんや地域の皆さんからも大きな声援をいただくことができました。

今年もすべての競技で生徒たちの一生懸命な姿を見ることができました。中でも校長として特に注目したのが、「全校大縄跳び」。昨年も同じ競技を行いましたが、今年はルールが変更になって、学級全員で跳ぶことになりました。各クラス３０人を超える人数が一斉に跳ぶ。男子も女子も、跳躍の得意な子も、そうでない子も、背の高い子もそうでない子もみんな同じ。２人の回し手と息を合わせながらの挑戦です。４月末から始まった大縄の練習では、１年生は初めての大縄、２・３年生も全員で跳ぶので、まったくといってよいほど跳べていませんでした。それでも練習を重ねるごとにうまくなっていき、当日を迎えました。競技ですから勝敗はつきましたが、どのクラスも大きな成果を得たはずです。

生徒たちの姿勢を見ていると、まさに表題にある「One for all , All for one」がぴったり当てはまります。日本語にするとしたら**「一人はみんなのために　みんなは一つの目標のために」**となるそうです。それぞれが自分にできること、自分の与えられた役割をしっかりと考え、その持っている力を存分に発揮する。そのことがみんなのためにもなるし、そのつながりの先に目標の達成がある。その仕組みは「大縄跳びチーム」だけではなく、「クラス」も「学年」も、そして「学校」も同じこと。目標達成に向かって、一人一人がしっかりと意識してこれからの学校生活を送って欲しいと思います。

今年の体育祭テーマは**「笑春」**でした。約１か月にわたる取組を通して、生徒にとっては仲間と笑顔で語り合える最高の体育祭になったのではないでしょうか。